

「バック」してきた、トラックにはねられ 視覚障害者と盲導犬、死亡

2015/10/04

3日午前8時5分ごろ、徳島県で、盲導犬と一緒に歩いていたマッサージ師の男性(50)が、前からバックしてきた自営業手伝いの男性(38)のトラックにはねられ、胸や腰を強く打って搬送先の病院で間もなく死亡した。男性は目が不自由で、盲導犬も巻き添えで死んだ。

“重大事故”が多発する「薄暮れ時」に要注意

急激な明るさの低下

歩行者の往来が多い場所や飛び出しが予想できる住宅街などでは、スピードを落として運転

「うっかり・ぼんやり」事故増加！

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

トラック事故の特徴 “追突事故”が多い
追突事故 ⇒ 全事故の50%

「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！

- 子供の飛び出しに要注意！
- スピードを落として、しっかり安全確認！

「慣れ」、「過信」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁>

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

恵庭 国道に出る際の、「安全確認」

陸自車両が車2台と衝突 1人死亡3人けが

2015年10月05日

4日午後7時25分ごろ、恵庭市桜森の国道36号交差点で、陸上自衛隊第7師団の自衛官(33)が運転する自衛隊車両と、整備士の男性(24)の乗用車が出会い頭に衝突、自衛隊車両は別の乗用車にも衝突した。男性が頭を強く打ち、約8時間後に死亡したほか、自衛官と助手席の男性陸曹長(46)、別の乗用車の運転手の計3人が軽傷。道警千歳署によると、現場は見通しの良い交差点。演習場から右折して国道に出ようとした際、事故が起きた。自衛隊車両側に安全確認の義務があり、同署は詳しい事故の原因を調べている。

交差点 どちらかが、「信号無視」 大型セルフと衝突し、ダンプ運転手死亡

2015年10月04日

3日午後0時15分ごろ、千葉県の国道交差点で、直進していた大型ダンプが、左から進行してきた大型セルフと出会い頭に衝突した。ダンプは横転し、40代くらいの運転手男性が病院に運ばれたが死亡が確認された。セルフの運転手男性もけがを負い、病院に搬送された。警察によると、現場は信号機があり見通しは良い。同署は2人の身元確認を急ぐとともに、どちらかが信号無視した可能性があるとして詳しい事故原因を調べている。

警察は、「出発、休憩時 点検を」 トラックからの落下物原因 死亡事故 トラック運転手ら書類送検

2015/10/06

3月下旬に石川県で、落下物が原因で後続車両3台が衝突し、生後2カ月の乳児が亡くなった事故で、県警高速隊は自動車運転処罰法違反(過失致死傷)の疑いで60代の男性トラック運転手ら3人を書類送検した。送検容疑は3月28日午後1時15分ごろ、トラック運転手がトラックの荷物の安全措置や点検など転落防止措置を怠り、スチール製(高さ1.8メートル)の棚を落下したとされる。棚を避けるため、後続の男性会社員=当時(21)=の乗用車が急ブレーキをかけ、後ろから来た車両2台に相次いで追突された。乗用車の後部座席に乗っていた男性会社員の長男が頭を打って死亡したとされる。高速隊によると、トラック運転手らが会社でスチール棚がないことに気づき、関係機関を通じて高速隊に問い合わせた。県警は目撃情報などもあり、トラックを特定した。

トラックには運転手のほかにも男性が同乗していたが「落下には気づかなかった」と話している。

警察「出発、休憩時 点検を」

警察は「出発時や休憩時にはあらためて再点検を」と注意を促している。

落下物はタイヤのバースト片やブルーシートをはじめ、角材、脚立、プラスチック箱など多岐にわたる。